

PROJECT 03 高機ドローン

ドローンの魅力を

イベントで披露!

様々なレースにも参加。



高校生や子どもたちにドローンの操縦体験も。



プロジェクトの先輩からドローンの機体の構成を教えてもらいながら、フレームの調整を行う。先輩方の機体を引き継ぎ、部品を入れ替えながらオリジナルドローンに仕上げる。



競技用のドローン2機。青いプロペラの機体が、高校で行う工作用のデモ機。赤いプロペラの機体がプロジェクトの先輩が製作し、実際にレースに出場したオリジナル実機だ。

近年、多様な場所・場面でドローンが活用されていますが、私たちはドローンの魅力を広く伝える活動に力を注いでいます。たとえば、ドローンの部品等を・調達して作ったオリジナルドローンを造大祭で展示するほか、オープンキャンパスで高校生にドローンの操縦を体験してもらったりしています。また、イベントで子どもたちに操縦を体験してもらうこともあります。さらには、出張講義のサポートとして長崎県の高校へ足を運び、高校生にドローンの操縦技術を指導しています。

このほかレース用オリジナルドローンで、様々なレースにも出場しています。レース方式は様々ですが、ドローンを墜落させることなくトンネルやスラロームなどの障害物を通り抜け、ゴールまでのタイムを競うものが多く、近年、都市部を中心に開催されています。ドローンに搭載されたカメラから送信されてきたリアルタイム映像を見ながら操縦する、FPV(一人称視点)操縦が特徴で、過去には先輩方が大会上位の成績を挙げたこともあります。

私自身は初心者で、今はレースよりもドローンを用いた空撮に興味を持っているので、今後は操縦技術と共に撮影技術を磨いていきたいですね。このドローンの操縦技術を自分のアピールポイントの一つに加え、進路の可能性を広げたいと思っています。



leader

電気電子工学コース3年
加瀬 颯大
長崎県立対馬高等学校出身

現代生活に不可欠で、未来でも使い続けられるだろう「電気」を将来の仕事にしたいと考え、専門的に学ぼうと入学した。テレビで放映されるドローンを用いた「空撮」に興味を持ったことから、担当の先生と話をしプロジェクトへの参加を決めたという。